



「本紙を含み総数2枚」

事務連絡

平成20年2月28日

内航大型船輸送海運組合
全国海運組合連合会
全国内航輸送海運組合
全日本内航船主海運組合
写：全国内航タンカー海運組合

事務局 御中

日本内航海運組合総連合会
環境安全委員会 事務局

日本内燃機関連合会主催の講演会ご案内の件（連絡）
（重油燃料の燃焼性能）

掲題に関し、現在内航船に供給されている重油燃料（A・C重油）の性状が近年とみに厳しくなりつつあり、それに起因していると考えられる機関損傷事故も発生している状況ご既承の通りです。

今般、本講演会にて「重油燃料の燃焼性能」についての具体的な情報を教授して戴く絶好の機会であり、有料の下記講演会ではありますが関係する貴組合支部、内航海運業者への周知方につき宜しくお取り計らい下さるようお願いいたします。

尚、参加費は内航総連が協賛団体となっており、日内連会員（19,000円）にて取り扱おうことになっております。

記

1. 開催日時 平成20年4月15日（火）09:00～17:00
2. 場所 オフィシア汐留（東京都港区海岸1-2-20 汐留ビル）
3. プログラム 別紙（2008年度第1回日内連主催講演会）参照下さい。
4. 申込方法 上記別紙 問い合わせ先に直接 e-mail または Fax にて事前連絡し、参加費を指定日までに送付下さい。
5. 参加費 19,000円/名（内航総連所属の内航海運業者であることお知らせ下さい。

以上

<添付資料> 2008年度第1回日内連主催講演会 一部

2008 年度第一回日内連主催講演会

テーマ “重油燃料の燃焼性能” 講演会

— 一層幅が広がる重油燃料の品質にどう対応するか —

この度、本年度一回目の日本内燃機関連合会主催講演会を催すこととなりました。

船舶からの有害排気エミッション規制に関連し、特定海域での低硫黄燃料油の使用が義務付けられる反面、一般重油の品質の幅はますます広がりつつあり、機関ユーザーは安全に対する大きなリスクを抱えたまま船舶の運行を強いられています。加えて、バイオ燃料系廃棄物、化学系廃棄物やシェルオイルの混入による機関トラブルなどが最近報じられております。しかしながら、肝心の燃料油規格 ISO8217 の現状は、ユーザーが安心して燃料を使用するための規格とは非常にかけ離れたものとなっています。

年明け早々、100 ドル/バレルと価格だけが一人歩きしていますが、ユーザーにとって安心して使用できる燃料油を確保するためにはどうしたらよいか、この方面の世界の第一人者をお招きし現状の再認識と今後の進むべき道をご講演いただくことといたしました。

業界の動きに関する最新の情報入手は、素早い企業経営方針決定のために、今後ますます重要になってくると思われます。つきましては、原動機ユーザー、原動機メーカー、行政関係者など本問題に興味のある方、日頃これらの分野の計画、設計、開発、研究、運転実務に携わっておられる方々の多数のご来聴をお願い申し上げます。

開催日時 2008年4月15日(火) 09:00~17:00

会場 オフィシア夕留

(東京都港区海岸 1-2-20 夕留ビル TEL 03-6721-8000)

講演プログラム

時間	講演題目	講演者(予定)
09:25~09:30	開会の辞	日内連会長
09:30~10:00	1) 燃料油を中心とした IMO の最近の動き	川上雅由(新潟原動機)
10:00~11:00	2) 分析結果から見る最近の燃料油品質と今後の動向予測	Mr. D. O. Halle (DNVPS)
11:00~12:00	3) 燃料油規格(ISO8217)の問題点と今後	Mr. Aabo (MAN)
----- 昼 食 -----		
13:00~14:00	4) 燃焼性試験装置 FIA と IP 規格化の経緯	Mr. J. K. Paulsen (Fueltech)
14:00~15:00	5) FIA 及び FCA 結果と諸経験	Mr. A. Stroem (DNVPS)
----- 休 憩 -----		
15:20~15:50	6) FIA 分析結果に見る燃焼特性 (I)	宮野春雄(日本油化)
		竹田充志(日本油化)
15:50~16:20	7) FIA 分析結果に見る燃焼特性 (II)	高崎講二(九州大学)
		田島博士(九州大学)
16:20~16:50	8) FIA 分析結果に見る燃焼特性 (III)	黒澤忠彦(日本海事協会)
16:50~16:55	閉会の辞	

プログラムは都合により予告無く変更されることがあります

(4) 参加費

まず、下記講演会事務局へ参加希望の旨を e-mail あるいは FAX でご連絡の上、参加登録費を 3 月 28 日(金)までにお振り込みください。また、念のため、当日会場へ払込票の控え又はレシートをお持ち下さい。(先着 100 名です。)

	日内連会員	会員外
参加登録費	19,000円	25,000円

注:参加費にはテキスト代、お飲み物代が含まれます。

下記の協賛学会、協会の会員は上記日内連会員資格に準じます。

日本内燃機関連合会所定の郵便振替払込書が無い場合には、当会事務局にご連絡下さい。所定の郵便振替払込書をお送りいたします。

あるいは、通常の郵便振替用紙により口座番号【00160-6-658860】、加入者名日本内燃機関連合会にお払い込みされても結構です。この場合には通信欄に「11月7日講演会参加」と題記し、参加申込者の所属、氏名、連絡先住所、電話番号を明記して下さい。

主催： 日本内燃機関連合会

協賛： (社)日本機械学会、(社)日本マリンエンジニアリング学会、(社)日本ガスタービン学会
(社)日本船用工業会、(社)日本船主協会、日本内航海運組合総連合会、石油連盟
(順不同 いずれも協賛依頼中)

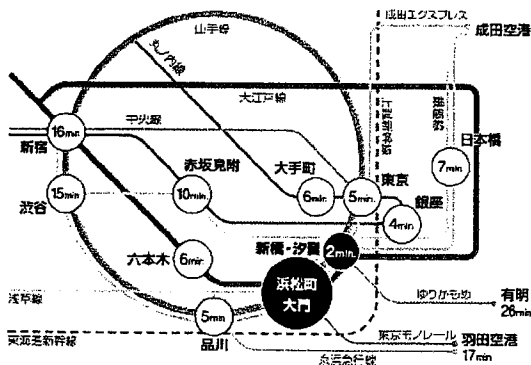
問合せ先： 日本内燃機関連合会 講演会事務局 jiccf_office@jiccf.org 担当：田山
〒105-0004 東京都港区新橋1-6-6 木村ビル TEL:050-3536-7846 FAX:03-3574-7883

《講演会会場ご案内》

東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング

JR 山手線・京浜東北線、東京モノレール
「浜松町」駅 北口より徒歩3分。

都営大江戸線・浅草線「大門」駅より徒歩3分。



*所要時間は、ヨロヨロ算のものです。持ち回り・乗り換え時間は含まれておりません。

